

町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

初の試み「オンライン収穫」

ヴォルターズ農園でオンライン収穫祭を開催

東無田・下原地区まちづくり協議会とプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」が共同運営している農園で5月30日、オンライン収穫祭が行われました。

これは、3密を避けつつ農業体験をしようという試みで、同チームの選手たちが、自宅にいる作物購入者とオンラインでコミュニケーションを取りながら、購入者の望む作物を代わりに収穫するものです。

選手に収穫方法を教えた同協議会の坂田英夫会長は、「農園を利用して地域を活性化させたい」と話しました。



オンラインを通じて購入者に収穫したジャガイモを見せる選手



酒井教育長から花を受け取る廣田さん

学校の再開はきれいな花と共に

花いっぱいエールプロジェクト

学校が本格的に再開した6月1日、酒井博範教育長から益城中央小の新1年生に花が送られました。

これは、町の生花店などの協力を得て、町内の学校・保育所や医療・福祉施設などに花を送る「益城町花いっぱいエールプロジェクト」の一環で、同小では、酒井教育長が各クラスの代表者に直接手渡しました。

新1年生を代表して、廣田智子さん(市ノ後団地)が「お花ありがとうございます。これからの学校生活をみんなで楽しんでいきたいです」と、お礼を言いました。

地域交流の場として3年9カ月

イオン九州(株)に感謝状を贈呈

6月6日、イオン益城テクノ仮設団地店の閉店に伴い、イオン九州(株)に感謝状が贈呈されました。

同店は、平成28年9月に出店。以降、3年9カ月の間、テクノ仮設団地に住む人たちの買い物の場としてだけでなく、数多く開催されたイベントによる地域交流の場としての役割を担い、地域を盛り上げました。感謝状は、その功績をたたえ送られたものです。

感謝状を受け取った柴田祐司代表取締役社長は、「これからも支援を続けていきたい」と述べました。



贈呈式終了後、店舗の前で記念撮影する従業員や入居者たち

災害時の応急復旧に必要な資機材を素早く確保

4月28日、町は、(株)アクティオ九州支店(福岡市)と「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を結びました。新型コロナウイルス感染症を考慮し、締結式は行われませんでした。

この協定により、大規模災害が発生した場合、同社が保有する掘削用機械や大型の発電機・照明機器に加え、仮設トイレなどのレンタル資機材が、町へ優先的に提供されます。必要な資機材を確保することで、応急復旧などの迅速化を図ります。

Pickup Plus+
今月のプラス